

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	兵庫県・姫路市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	姫路市文化遺産活用事業		【計画の改善時期】 平成30年度
4 実施計画期間	平成 30 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
姫路市は古代・中世の播磨国府の地、近世の姫路城の地として播磨国の中心地であり豊かな歴史文化遺産を有するが、郊外では過疎化が進み、中心市街地でも人口減が進行している。そこで平成29年度までの事業を踏まえ、市中心域では世界遺産エリアに接する近世姫路城外曲輪＝「姫路町」、市南部域では古代以来の港であり近世姫路城の外港を要する「飾万津町」、市南西部では揖保川下流域の旧網干町、市南東部では播磨灘の形的形を基軸として諸事業を展開する。 平成30年度は、「姫路町」の祭礼文化を活用した普及啓発事業、「飾万津祭礼」調査研究成果と祭礼文化を活用した普及啓発事業、「網干町」の室津古道界隈の文化財を活用した普及啓発事業、播磨灘の海の文化として和船を活用した普及啓発事業を行い、姫路城を基軸とした市域全体で歴史文化遺産を活用した事業を実施することで地域コミュニティの形成と活性化、地域振興と情報発信、姫路城からの観光回遊性を進め、世界遺産姫路城・歴史文化都市姫路のイメージアップを図る。 本計画は「姫路市総合計画ふるさと・ひめじプラン2020」第3次実施計画(平成27-29年度)、「姫路市歴史文化基本構想（平成24年策定）」の考え方を取り入れながら、次の事業を実施するものである。 1. 地域の文化遺産次世代継承事業 （3）普及啓発事業 姫路町の祭礼文化 飾万津町の祭礼文化 網干町の歴史文化 和船を造る文化			
6 実施体制			
本事業については、姫路市が全体計画の企画、調整、事業の指導等を行う。 主な担当課、役割 教育委員会文化財課：文化財・伝統文化の取り扱いに関する企画、調整、指導等 産業局観光振興課：観光業務との連携や企画、調整、事業の指導等 また、補助事業は、次の団体が実施する。 『姫路歴史文化遺産活用事業実行委員会』 構成団体（網干歴史ロマンの会、姫路藩和船文化協議会 飾万津祭礼保存会、播磨国総社一ツ山大祭・三ツ山大祭保存会）			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 11,085 千円	平成30年度申請額： 7,097 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
姫路の歴史文化遺産に対する市民の関心を高め、市民の主體的な取り組みによる歴史文化遺産の保存、次世代への確実な継承、地域の活性化が期待でき、観光振興施策「もてなしの街・姫路」を充実させるための基盤形成が期待できる。 さらに「姫路市総合計画ふるさと・ひめじプラン2020」第3次実施計画(平成27-29年度)において、基本目標1の政策1（観光客受入体制の充実）は「訪問数の目標値」850万人に対しすでに918万人(H25)と上回っているが、本事業計画は姫路城の位置する中心域から南部・南東部・南西部で事業展開を行い、政策2（回遊性の向上による多彩な観光の推進）に寄与し滞在型旅行者目標値36,0%に対する実績値28,7%(H25)を8%～10%向上させ目標値を越えることを目指す。			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	『姫路の年中行事』（H28調査研究事業成果冊子 市内931自治会の12ヶ月の行事調査）に基づき姫路ケーブルテレビで毎月「姫路の歳時」として取材編集し翌月番組放映を行い普及啓発を行う。		
事業概要：	飾万津町の祭礼文化普及啓発事業にあわせ、地域振興行事として地元各自治会等各種団体による出店を行い賑わい支援を行う。また地元有志の出資で飾万津町両社の秋季祭礼をサンテレビで取材放映を行い普及啓発を行う。		
事業概要：	網干町の歴史遺産普及啓発事業に伴い、地域振興行事として地元各種団体による出店を行い賑わい支援を行う。		

11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等	
平成24年度『姫路市歴史文化基本構想』策定済み	
12 担当部局	
地方公共団体 担当部局課	姫路市教育委員会文化財課

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1：	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1：	地域の文化遺産への来場者数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 1：	近世姫路城と旧姫路町の鎮守であった播磨国総社及び旧姫路町エリアへの外国人観光客の年間来訪者の増加				関連事業：	事業①
目標値 1：	【現状値】 平成 29 年度 600 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 700 人					
設定根拠 1：	「姫路市観光戦略プラン」が外国人観光客目標値を 40 万人としているので、29 年度は 35 万人であったので、目標を 1.15 倍とする。					
進捗状況 1：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2：	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2：	地域の文化遺産への来場者数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 2：	近世飾万津町の鎮守であった飾万津両社(恵美酒宮、浜の宮)秋季祭礼の見学者数の増加				関連事業：	事業②
目標値 2：	【現状値】 平成 29 年度 12,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 13,200 人					
設定根拠 2：	「姫路市観光戦略プラン」が年間 1000 万人を目標値としており、29 年度は 900 万人程度であるため、約 1.1 倍を目標とする。					
進捗状況 2：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 3：	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 3：	地域の文化遺産への来場者数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 3：	網干地域の歴史文化遺産への年間来訪者数の増加				関連事業：	事業③
目標値 3：	【現状値】 平成 29 年度 2,600 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 2,900 人					
設定根拠 3：	「姫路市観光戦略プラン」が年間 1000 万人を目標値としており、29 年度は約 900 万人であったので、1.1 倍を目標にする。					
進捗状況 3：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 4：	その他					
評価指標区分 4：	・その他（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 4：	和船を造る文化フェイスブック「いいね」の増加				関連事業：	事業④
目標値 4：	【現状値】 平成 29 年度 12 件 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 450 件					
設定根拠 4：	29 年度に和船を造る文化フェイスブックを開設、「いいね」が 12 件であったので、毎年 100 件を増加目標として情報発信に努める。					
進捗状況 4：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
件	件	件	件	件	件	

8 (2) 実施事業の概要 別紙

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業③：		網干町の歴史遺産			実施団体：		網干歴史ロマンの会		
事業区分：		普及啓発			事業期間：		平成 30 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：		網干町(網干・網干西地区)通じる室津道(北ルート、南ルート)界限に遺る豊かな歴史遺産を実施団体・地元自治会・文化財所有者の協同で250年前から続く大覚寺虫干し行事をはじめ、貴重な文化財を公開・解説し、新聞等メディアも通じて網干の歴史遺産を広く普及啓発し、併せて地元各種団体の地域振興行事を行って来場者の増加を図り網干町の賑わいを創出する。							
評価指標区分：		・その他				(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：		網干地域の歴史文化遺産への年間来訪者数の増加							
目標値：		【現状値】 平成 29 年度 2,600 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 2,900 人							
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率							
平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度				
人	人	人	人	人	人				
事業④：		和船を造る文化			実施団体：		(実施団体名を記載してください。)		
事業区分：		普及啓発			事業期間：		平成 30 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：		和船を造る文化は消滅に瀕しており、兵庫県内では古代に韓泊(からどまり)といわれた的形の地で唯一継承されているに過ぎない。木と木の特色、姫路・播磨灘の潮と風、姫路平野を流れる河川の特色を踏まえた和船造りの文化を普及啓発するため、和船を造る文化見学会を的形で開催し、姫路・播磨灘の地域的特色を背景とする和船建造文化の魅力をアピールし、新聞報道、テレビ放映により広く普及啓発も行う。							
評価指標区分：		・その他				(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：		姫路藩和船文化協議会「和船を造る文化」フェイスブック「いいね」の増加							
目標値：		【現状値】 平成 29 年度 12 件 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 450 件							
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率							
平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度				
件	件	件	件	件	件				